

第4回（定例）兵庫県教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和3年5月20日（木）15:00～17:20

神戸市中央区下山手通5丁目

兵庫県教育委員会教育委員会室

2 会議に出席した者の職氏名

教育長	西上教育長	
教育委員	清水委員	牧村委員
	空地委員	横山委員
	並河委員	
事務局	西田教育次長	唐津教育次長
	吉田事務局参事兼総務課長	稲次教職員課長
	村田義務教育課長	小俣特別支援教育課長
	西田高校教育課長	近都人権教育課長
	甲斐文化財課長	北中体育保健課長
	橋本教職員課参事	森川阪神南地域新設特別支援学校開設準備室長

3 署名委員の指名等について

(1) 署名委員は、西上教育長の指名により、次のとおり決定された。

空地委員 横山委員

4 前回会議録の承認に関する件

第3回（定例）兵庫県教育委員会会議録の承認

第3回定例教育委員会における報告事項3件の会議録について、吉田事務局参事兼総務課長が説明し、全員異議なく承認された。

5 教育長の報告

新型コロナウイルス感染症の直近の状況等

新型コロナウイルス感染症の直近の状況等について、北中体育保健課長が報告した。

6 議事

(1) 第8号議案

兵庫県立特別支援学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に係る意見申出

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、兵庫県立特別支援学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて、森川阪神南地域新設特別支援学校開設準備室長が説明し、審議の

結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

(2) 第9号議案

兵庫県立香住高等学校小型実習船の取得に係る意見申出

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、兵庫県立香住高等学校小型実習船の取得について、西田高校教育課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

(3) 第10号議案

兵庫県いじめ対策審議会委員の委嘱

兵庫県いじめ対策審議会条例第4条第1項の規定に基づき、標記委員として1名を委嘱することについて、西田高校教育課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

(4) 第11号～第14号議案

教職員の人事

教職員の非違行為について、稲次教職員課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり懲戒処分4件が決定された。

(5) 第15号議案

退職教職員の退職手当の支給制限処分

退職教職員の在職時における懲戒免職相当の非違行為が認められたため、公立学校職員等の退職手当に関する条例第13条の3に基づき、退職手当の全部を支給しないこととする処分について、稲次教職員課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

(6) 第16号～第17号議案

教職員の人事

令和3年6月1日付け教職員の人事について、稲次教職員課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

7 報告事項

(1) 令和3年度兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果

令和3年2月、3月に実施した兵庫県公立高等学校入学者選抜の実施結果について、西田高校教育課長が報告した。

(2) 令和3年度兵庫県立特別支援学校高等部入学者選考実施結果

令和3年2月、3月に実施した兵庫県立特別支援学校高等部入学者選考の実施結果について、小俵特別支援教育課長が報告した。

(3) 令和2年度県立高等学校卒業生の就職内定状況

令和3年3月県立高等学校卒業生の3月末現在の就職内定状況及び就職支援等について、西田高校教育課長が報告した。

(4) 令和2年度特別支援学校高等部卒業生の就職状況

令和3年3月県立特別支援学校高等部卒業生の就職状況及び就職支援等について、小俵特別支援教育課長が報告した。

(5) 重要文化財（建造物）の指定

令和3年5月21日に開催される国の文化審議会において、県内の建造物1件

を重要文化財（建造物）に指定するよう文部科学大臣に答申されることについて、甲斐文化財課長が報告した。

8 委員の主な意見及び事務局の説明

(1) 新型コロナウイルス感染症の直近の状況等

（清水委員）

新型コロナウイルスにより、学級や学年閉鎖となった場合、地域の住民はその情報を知ることはできるのか。公表についてのルールはあるのか。

（北中体育保健課長）

学校名の公表については、当初は非公開だったが、最近では記者発表をしている。

（清水委員）

その場合、医療機関が公表するのか。学校が公表するのか。

（北中体育保健課長）

臨時休業措置は設置者判断となっているため、県立学校については、県教育委員会でとりまとめて発表している。

（西上教育長）

以前は学校名を発表していなかったが、現在は公表している。

(2) 令和2年度県立高等学校卒業生の就職内定状況

（牧村委員）

現在のところ、就職内定状況にコロナの影響が大きくは出ていないが、学校や教育委員会も経済の動向を注視しておく必要がある。

（西上教育長）

これから就職関係は本格的に始まるので、経済状況を十分に踏まえながら学校と連携をして取り組みたい。

(3) 令和2年度特別支援学校高等部卒業生の就職状況

（横山委員）

特別支援学校の就職率について、通常、就職率というと就職希望者に占める就職者数になるが、卒業生総数に占める就職者数となっている。就職希望者数や、生徒の障害の程度によって就職率に影響すると思われるが、どう考えれば良いか。

（小俣特別支援教育長）

学校基本調査の統計調査の仕組みが、日中どこで活動しているのかを指標としており、それを活用している。都道府県の母数は違うが、就職できる環境を整え、全国平均に近づけるということを目指している。

（西上教育長）

同じ特別支援学校に通っているのに、就職という点で全国平均とこれだけの開きがあるのかという疑問が県の取組みのスタートになった。早期に全国平均にとどくよう取組みを推進したい。

9 閉 会

以 上